

# 財務主要データ

2016年12月期より国際財務報告基準 (IFRS) を適用しています。2015年12月期の数値についてもIFRSに準拠して開示しています。

科目名*1	(単位)	日本基準				IFRS	
		2012.3	2013.3	2014.3	2014.12*6	2015.12	2016.12
<b>業績</b>							
売上収益	(億円)	¥11,546	¥12,181	¥14,528	¥12,243	¥14,274	¥11,955
販売費及び一般管理費*2*3	(億円)	4,574	4,622	5,634	5,086	6,175	5,195
研究開発費投資前事業利益	(億円)					3,698	2,857
研究開発費投資前事業利益率	(%)					25.9	23.9
研究開発費*3	(億円)	1,592	1,924	2,490	1,729	1,996	1,526
研究開発費率	(%)	13.8	15.8	17.1	14.1	14.0	12.8
事業利益*4	(億円)					1,702	1,331
事業利益率	(%)					11.9	11.1
営業利益	(億円)	1,487	1,697	1,987	1,965	1,489	1,011
営業利益率	(%)	12.9	13.9	13.7	16.1	10.4	8.5
親会社の所有者に帰属する当期利益	(億円)	922	1,224	1,510	1,431	1,020	926
<b>財政状態</b>							
資産合計	(億円)	¥16,668	¥17,792	¥20,284	¥21,782	¥25,753	¥24,783
資本合計	(億円)	12,228	13,251	15,108	16,586	17,274	17,384
親会社所有者帰属持分比率	(%)	72.5	73.7	73.2	74.7	66.0	69.0
ROE	(%)	7.8	9.7	10.8	9.2	6.1	5.4
ROA*5	(%)	8.7	10.3	11.0	10.0	6.2	4.6
<b>キャッシュ・フロー</b>							
営業活動によるキャッシュ・フロー	(億円)	¥ 1,476	¥ 1,193	¥ 2,265	¥ 885	¥ 2,579	¥ 1,420
投資活動によるキャッシュ・フロー	(億円)	△1,076	△912	△1,085	△287	△4,226	△1,351
フリー・キャッシュ・フロー	(億円)	400	281	1,179	599	△1,647	69
<b>配当金情報</b>							
1株当たり配当金	(円)	¥ 45	¥ 58	¥ 65	¥ 75	¥ 100	¥ 100
配当性向	(%)	27.2	26.1	23.4	28.4	53.1	58.5
<b>株式・株価</b>							
期末発行済株式総数	(千株)	557,836	557,836	557,836	557,836	557,836	557,836
期末株価	(円)	¥ 2,450	¥ 3,300	¥ 3,087	¥ 3,617	¥ 4,317	¥ 5,093
<b>従業員数*9</b>							
合計	(名)	24,595	25,330	28,288	29,482	31,940	31,787
国内	(名)	13,808	13,732	14,116	14,285	14,082	13,909
海外	(名)	10,787	11,598	14,172	15,197	17,858	17,878

\*1 IFRSの科目名で表示しています。

\*2 日本基準の販売費及び一般管理費は、IFRSとの業績比較のため、研究開発費を差し引いて算出しています。

\*3 減損損失を除いています。

\*4 事業利益=売上収益-売上原価-販売費及び一般管理費+持分法投資利益-研究開発費

\*5 ROA=税引前当期利益/資産合計(期首・期末平均)

\*6 2014年12月期については決算期変更に伴い2014年4月1日から2014年12月31日の9カ月間の数値を記しています。

\*7 2019年12月期末において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2018年12月期に係る数値については、暫定的な会計処理の確定内容を反映させています。

\*8 1米ドル=132.70円で換算しています。

\*9 大塚ホールディングスとその子会社の従業員数(2022年12月31日現在)

## 財務主要データ

IFRS									
科目名*1	(単位)	2017.12	2018.12*7	2019.12	2020.12	2021.12	2022.12	(単位)	2022.12*8
<b>業績</b>									
売上収益	(億円)	¥12,400	¥12,920	¥13,962	¥14,228	¥14,983	¥17,380	(百万米ドル)	\$13,097
販売費及び一般管理費*3	(億円)	5,314	5,528	5,576	5,624	6,223	7,241	(百万米ドル)	5,457
研究開発費投資前事業利益	(億円)	3,054	3,138	4,030	4,337	3,894	4,501	(百万米ドル)	3,392
研究開発費投資前事業利益率	(%)	24.6	24.3	28.9	30.5	26.0	25.9	(%)	25.9
研究開発費*3	(億円)	1,740	1,929	2,158	2,168	2,323	2,752	(百万米ドル)	2,074
研究開発費率	(%)	14.0	14.9	15.5	15.2	15.5	15.8	(%)	15.8
事業利益*4	(億円)	1,314	1,209	1,872	2,169	1,571	1,749	(百万米ドル)	1,318
事業利益率	(%)	10.6	9.4	13.4	15.2	10.5	10.1	(%)	10.1
営業利益	(億円)	1,042	1,083	1,766	1,986	1,545	1,503	(百万米ドル)	1,133
営業利益率	(%)	8.4	8.4	12.6	14.0	10.3	8.6	(%)	8.6
親会社の所有者に帰属する当期利益	(億円)	1,125	825	1,272	1,481	1,255	1,340	(百万米ドル)	1,010
<b>財政状態</b>									
資産合計	(億円)	¥24,803	¥24,774	¥25,813	¥26,278	¥28,209	¥31,027	(百万米ドル)	\$23,381
資本合計	(億円)	18,220	17,323	17,954	18,834	20,452	22,625	(百万米ドル)	17,050
親会社所有者帰属持分比率	(%)	72.3	68.8	68.4	70.5	71.3	71.7	(%)	71.7
ROE	(%)	6.4	4.7	7.3	8.2	6.5	6.3	(%)	6.3
ROA*5	(%)	4.2	4.4	6.9	7.3	6.0	5.8	(%)	5.8
<b>キャッシュ・フロー</b>									
営業活動によるキャッシュ・フロー	(億円)	¥ 1,028	¥ 1,358	¥ 1,926	¥ 2,328	¥ 2,289	¥ 2,118	(百万米ドル)	\$ 1,596
投資活動によるキャッシュ・フロー	(億円)	△401	△933	△523	△999	△953	△816	(百万米ドル)	△615
フリー・キャッシュ・フロー	(億円)	628	425	1,404	1,330	1,336	1,303	(百万米ドル)	982
<b>配当金情報</b>									
1株当たり配当金	(円)	¥ 100	¥ 100	¥ 100	¥ 100	¥ 100	¥ 100	(米ドル)	\$ 0.75
配当性向	(%)	48.2	65.7	42.6	36.6	43.2	40.5	(%)	40.5
<b>株式・株価</b>									
期末発行済株式総数	(千株)	557,836	557,836	557,836	557,836	557,836	557,836	(千株)	557,836
期末株価	(円)	¥ 4,948	¥ 4,493	¥ 4,883	¥ 4,418	¥ 4,169	¥ 4,305	(米ドル)	\$ 32.44
<b>従業員数*9</b>									
合計	(名)	32,817	32,935	32,992	33,151	33,226	33,482	(名)	33,482
国内	(名)	13,880	13,757	13,356	13,319	13,196	13,167	(名)	13,167
海外	(名)	18,937	19,178	19,636	19,832	20,030	20,315	(名)	20,315

# グループ構成／グローバルネットワーク／会社概要

## 理念



— 大塚グループ企業理念

**Otsuka-people creating new products for better health worldwide**  
 世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する

— 概要

大塚グループは、1921年に創業し、世界の人々の健康への貢献を目的に、疾病の診断から治療までを担う「医療関連事業」と日々の健康の維持・増進をサポートする「ニュートラシューティカルズ\*1 関連事業」の2本柱で事業を展開しています。歴代の経営者が育んできた「流汗悟道」「実証」「創造性」という大塚の伝統を受け継ぎ、現在では世界32カ国・地域、196社で47,000人\*2の社員が、大塚らしいユニークな製品・サービスを提供し続けるため活動を行っています。

\*1. ニュートラシューティカルズ: Nutraceuticals = nutrition (栄養) + pharmaceuticals (医薬品) \*2. 2022年12月末現在。大塚ホールディングスおよびその子会社、関連会社

— グループ構成



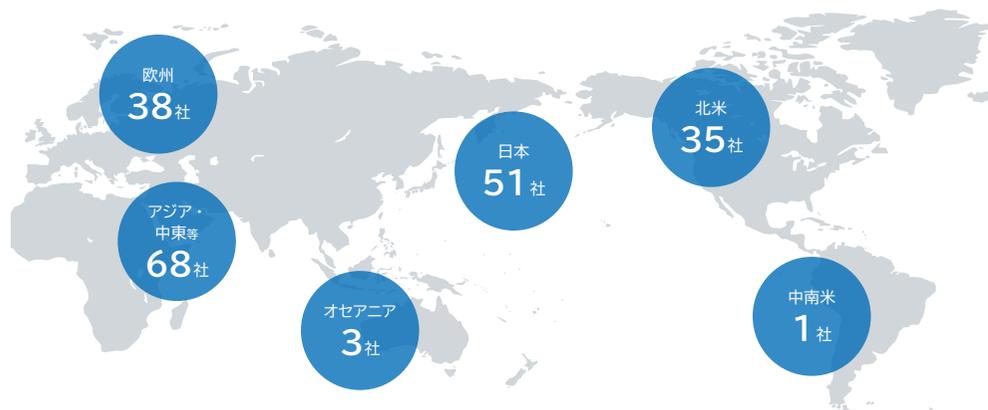
## 会社概要 (2022年12月31日現在)

会社名	大塚ホールディングス株式会社 (Otsuka Holdings Co., Ltd.)
設立	2008年7月8日
資本金	816億90百万円
本店	〒101-0048 東京都千代田区神田司町二丁目9番地
東京本部	〒108-8241 東京都港区港南二丁目16番4号 品川グランドセントラルタワー
電話番号	03-6717-1410 (代表)
従業員	147名 (大塚ホールディングス連結従業員数: 33,482名)
事業内容	医療関連事業、NC関連事業、消費者関連事業、その他の事業を営む会社の株式を所有することによる当該会社の事業活動等の支配および管理並びにそれに附随関連する一切の事業等

## グローバルネットワーク (2022年12月31日現在)

### 事業拠点

**32**カ国・地域 **196**社



# 組織図／事業会社概要

組織図 (2023年3月30日現在)



<b>大塚製薬株式会社</b>	<p>人々の健康を身体全体で考え、疾病の治癒から日々の健康増進までを目指したトータルヘルスケア企業</p> <p>「世界の人々の健康に貢献する革新的な製品を創造する」という企業理念のもと、疾病の治癒を目指し新しい治療薬を提供する「医療関連事業」と健康の維持・増進のための製品を提供する「NC関連事業」の両輪で、人々の健康に貢献しています。</p>
<b>株式会社大塚製薬工場</b>	<p>大塚グループ発祥の会社、75年以上にわたり輸液事業に取り組む、日本の輸液のリーディングカンパニー</p> <p>“The Best Partner in Clinical Nutrition”（臨床栄養領域における患者さん、医療従事者のベストパートナーを目指す）を経営ビジョンとし、医療用医薬品、医療機器のみならず、経口補水液をはじめとするメディカルフーズ、OTC医薬品（一般用医薬品）など、さまざまなニーズに対応した革新的な製品を創造し、日本・アジアを中心にグローバルで事業を展開しています。</p>
<b>大鵬薬品工業株式会社</b>	<p>がん領域に取り組んで半世紀、国内外の患者さんと生活者のために</p> <p>「私たちは人びとの健康を高め 満ち足りた笑顔あふれる 社会作りに貢献します。」を企業理念とし、「がん」、「免疫・アレルギー」、「泌尿器」の3領域に注力する研究開発型スペシャリティファーマです。特にがん領域においては、国内におけるリーディングカンパニーの一つとして知られており、グローバル化も積極的に推進しています。コンシューマーヘルスケア事業では、生活者志向を第一に愛情豊かな暮らしを支える商品作りに注力しています。</p>
<b>大塚倉庫株式会社</b>	<p>ロジスティクス（物流）領域で世界の人々の健康に貢献</p> <p>創業以来、一貫して医薬品・食品の物流を中心に事業展開を行っています。大塚グループの医薬品、飲料・食品、日用品の3分野に特化した共通プラットフォームを構築し、外部メーカーとの共同物流により、最適なロジスティクスの提供を推進。近年では、ITを駆使したコネクティッド・ロジスティクスを実現し、物流の革新に挑戦します。</p>
<b>大塚化学株式会社</b>	<p>大塚化学は「素材の力」を顧客とともに創造的に「かたち」にする会社です</p> <p>素材を核とし、常に技術革新を行い、豊かな暮らしを社会にもたらす製品作りを目指しています。ヒドラジン関連事業、無機素材・複合材事業、医薬中間体・原薬事業を中心に、「自動車」「電気・電子」「住宅」「医療」分野へグローバルに製品を提供しています。</p>
<b>大塚食品株式会社</b>	<p>1955年の創業以来、革新的な製品で新しい食生活スタイルを提案</p> <p>「会社は人にはじまり、食は心にはじまる」をモットーに、「美味・安全・安心・健康」を社員全員の“食”の心として、事業を行っています。これからも、「食」と「健康」をテーマに、人々の健康の先にある喜びや幸せをもたらすことができるよう、世の中に必要とされる革新的な製品を創出・提案し、社会に貢献できる企業として持続的な成長を目指してまいります。</p>
<b>大塚メディカルデバイス株式会社</b>	<p>革新的な治療手法の開発に挑み、新たな価値を創造</p> <p>大塚メディカルデバイス株式会社は、大塚グループが保有している医療機器事業に係る関係会社を集約して2011年2月に設立されました。これまでグループ各社で培ってきた医薬品開発などの高度な専門知識と経験を生かした創薬力と技術力の融合により、独創的な医療機器をグローバルで開発、製造販売する総合的医療機器企業を目指しています。大塚グループの企業理念“Otsuka-people creating new products for better health worldwide”のもと、未だ有効な治療手法が確立されていない領域に挑み、新たな価値を創造することで、世界の人々の健康や医療に貢献します。</p>

# 大塚グループの情報開示

大塚グループでは、統合報告書で財務・非財務情報の概要を報告しています。

さらに、有価証券報告書や決算説明会、およびその資料、ならびに研究開発に関する情報など、ウェブサイトからご覧いただけます。

## ウェブサイト

<https://www.otsuka.com/jp/>



## サステナビリティ

<https://www.otsuka.com/jp/csr/>



## 株主・投資家の皆さまへ

<https://www.otsuka.com/jp/ir/>



## ライブラリー

<https://www.otsuka.com/jp/csr/library/>



### サステナビリティ ハンドブック

広く一般の皆さまに対して、サステナビリティに向けた私たちの想いや取り組み事例などをわかりやすくご紹介します。



### 環境報告書 2021

大塚グループの環境への取り組みについて、詳しくまとめた「環境報告書」を発行しています。



## 統合報告書について

大塚ホールディングスは、2017年度報告分から従来の「アニュアルレポート」と「CSR報告書」を統合し、財務情報と非財務情報をまとめた統合報告書として発行しています。本レポートを通じ、ステークホルダーの皆さまに「世界の人々の健康に貢献する、なくてはならない企業」を目指す当社グループについて、より深くご理解いただければ幸いです。

## 対象期間

2022年度（2022年1月1日～2022年12月31日）。ただし、一部2023年1月以降の情報を含まず。

## 対象範囲

原則として大塚ホールディングス株式会社とその子会社を対象としています。活動やデータについて範囲を限定する場合は、本レポート中に注記しています。

## 参考にしたガイドライン

- 国際会計基準（IFRS）財団「国際統合報告フレームワーク」
- GRI「GRIサステナビリティ・レポートング・スタンダード」
- ISO26000
- 環境省「環境報告ガイドライン（2018年版）」
- 経済産業省「価値協創ガイダンス」 など



## 見直しに関する注意事項

この統合報告書は、2022年12月期の実績および2023年1月1日からこの統合報告書発行日までの活動内容に基づき、大塚グループ（大塚ホールディングス株式会社およびその子会社）に関する情報を掲載しています。この統合報告書は、大塚グループの計画、見直し、戦略、業績などに関する将来の見直し、予測を含んでいます。この見直し、予測は、この統合報告書発行日現在、入手可能な情報から得られた分析、判断に基づいています。したがって、実際の結果は、見直し、予測と異なることがあり、リスクや不確実性を含んでいることをご承知おきください。

## 製品情報に関する注意事項

この統合報告書では読みやすさを重視し、各国別名で上市している製品については統一した製品名で表記しています。そのため、それら製品は国によって、異なる製品名、適応症、用量などで販売されている場合もあります。また、それら製品はすべての国で販売されているものではありません。なお、医薬品（開発中の製品を含む）に関する情報は、広告、宣伝あるいは医療上の助言を意図するものではありません。

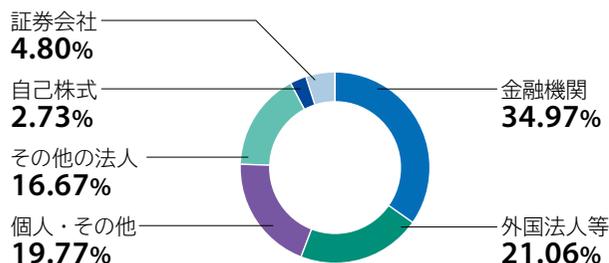
# 株式の状況

(2022年12月31日現在)

## 株式情報

発行可能株式総数	1,600,000,000株
発行済株式の総数	557,835,617株
株主数	83,097名

## 所有者別持株比率



## 大株主（上位10名）

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	73,121	13.47
野村信託銀行株式会社 大塚創業者持株会信託口	55,799	10.28
株式会社日本カストディ銀行 (信託口)	27,984	5.15
大塚エステート株式会社	23,316	4.29
大塚グループ従業員持株会	13,954	2.57
株式会社阿波銀行	10,970	2.02
STATE STREET BANK WEST CLIENT - TREATY 505234	9,874	1.81
SMBC日興証券株式会社	8,350	1.53
大塚アセット株式会社	7,380	1.36
JPモルガン証券株式会社	7,092	1.30

(注) 1. 持株数は千株未満を切り捨てて表示しております。  
 2. 当社は、自己株式を15,201,916株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 3. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

## 主なIR活動実績

### 株主総会

	2022年度実績
株主総会への来場者数	101名
株主総会（ライブ配信）への参加者数	209名
議決権行使率	83.78%



株主総会

### アナリスト・機関投資家との対話

	2022年度実績
個別ミーティング	168回
決算説明会	4回
事業説明会	1回
証券会社主催カンファレンス	6回



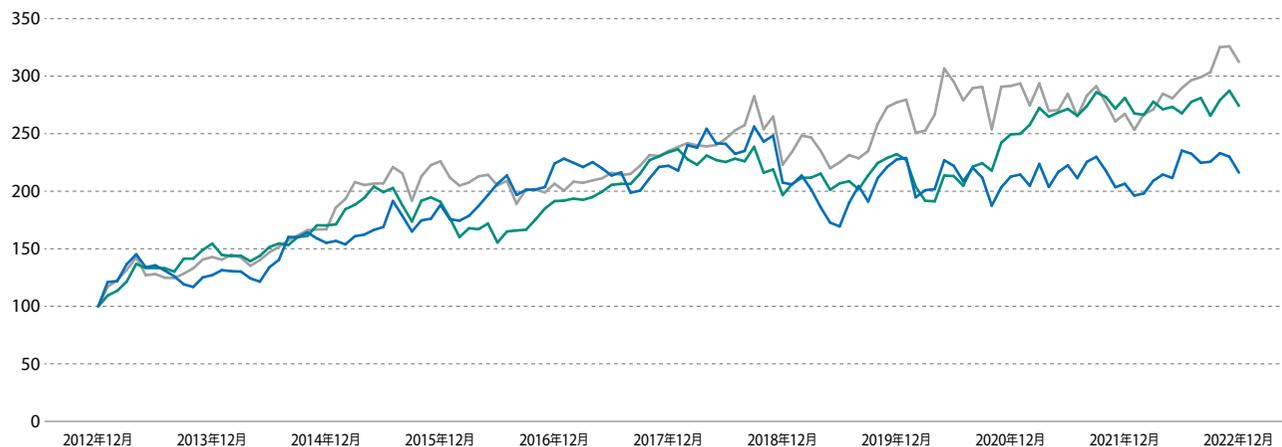
決算説明会

## IR活動に対する外部評価

年金積立金管理運用独立行政法人 (GPIF)  
 「改善度の高い統合報告書」

## TSR\*

— 大塚ホールディングス — TOPIX — 医薬品 (TOPIX-17)



	1年	3年		5年		10年	
		累積	年率	累積	年率	累積	年率
大塚ホールディングス	5.7%	-5.7%	-1.9%	-2.9%	-0.6%	116.7%	8.0%
TOPIX	-2.5%	18.1%	5.7%	17.2%	3.2%	174.2%	10.6%
医薬品 (TOPIX-17)	16.9%	12.7%	4.1%	32.9%	5.9%	212.4%	12.1%

\* TSR (Total Shareholder Return) : 株主総利回り。キャピタルゲインと配当を合わせた総合投資収益率。  
 \* TSRの計算は、大塚ホールディングスは累積配当額と株価変動により、TOPIXは配当込の株価指数により算出 (Bloomberg データ等により当社作成)。  
 \* グラフの値は、2012年12月末日の終値データを100としてTSRによる時価を指数化したものの (保有期間は2022年12月未まで)。